

氏 名

用 途		() 項	構 造				
延べ面積		m ²	階 数	地上 階 地階 階			
住 戸 数		全住戸数 戸、共同住宅用スプリンクラー設備設置住戸数 戸					
加圧送水装置の種別		方式					
流水検知装置の方式		湿式 その他 ()					
スプリンクラーヘッド		種 別					
		設置個数					
試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		結果			
外 観 試 験	水 源	水源の種類・構造		— — — — —			
		水 量		m ³ (縦 m 横 m 有効深さ m)			
		吸水障害防止措置		有 ・ 無			
		給 水 装 置		— — — — —			
		耐 震 措 置		有 ・ 無			
	加	設 置 場 所					
	圧 送 を 用 い る も の 装 置	ポ ン プ	ポンプの仕様	製造者名	定格吐出量 L/min		
					定格全揚程 m		
			電動機の仕様	型式	製造番号		
				製造者名	種別 型電動機		
					定格電圧 V		
				型式	定格電流 A		
			製造番号	出力 k V A			
		ポンプ・電動機	設置状況	— — — — —			
			接地工事	種接地			
			配 線	— — — — —			
			潤 滑 油	— — — — —			
			水温上昇防止のための逃し装置	配管・バルブ類	— — — — —		
				オリフィス等	流過口径 mm		
				ブースターポンプに設ける逃し配管・逃し装置	逃し配管の高さ m 逃し装置の設定圧力 MPa		
性能試験装置の配管・バルブ類		— — — — —					

試 験 項 目					種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果		
外 観 試 験	加 圧 送 水 の 装 置	ポ ンプ を 用 い る も の 装 置	呼 水 装 置		材 質	鋼板製・合成樹脂製		
					水 量	L		
					溢 水 用 排 水 管	管の呼び	A	
					呼 水 管	管の呼び	A	
					補 給 水 管	管の呼び	A	
					減 水 警 報 装 置	フロートスイッチ・電極		
			制 御 装 置		設 置 場 所			
					制 御 盤	――		
					予 備 品 等	――		
					接 地 工 事	種接地		
			圧 力 計 ・ 連 成 計		設 置 位 置	――		
		性 能			級			
		起 動 装 置	直 接 操 作 部		――			
					――			
			起 動 用 水 圧 開 閉 装 置	起 動 用 圧 力 タ ン ク		第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
				タ ン ク の 容 量		L		
				配 管 ・ バ ル ブ 類		管の呼び	A	
		流 水 検 知 装 置		――				
		高 架 水 槽 を 用 い る も の		構 造				
				内 容 積 ・ 落 差		m ³ m		
				配 管 ・ バ ル ブ 類		――		
				水 位 計		――		
		圧 力 水 槽 を 用 い る も の		種 類 ・ 構 造		第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
				内 容 積 ・ 有 効 圧 力		m ³ MPa		
				自 動 加 圧 装 置		有 ・ 無		
				配 管 ・ バ ル ブ 類		――		
				水 位 計 ・ 圧 力 計		――		
		耐 震 措 置		有 ・ 無				
		設 置 状 況						
		配 管 ・ バ ル ブ 類	機 器		配 管	――		
					バ ル ブ 類	――		
					吸 水 管	――		
					フ ー ト 弁	――		
		防 食 措 置		有 ・ 無				
		耐 震 措 置		有 ・ 無				
		電 源	常 用 電 源		V			
非 常 電 源 の 種 類			専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池					

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
外 <					

試 験 項 目				種別・容量等の内容	結果	
機能試験	加圧送水装置の試験	ポンプ	呼水装置作動試験	減水警報装置作動状況	底面からの高さ cm	
				自動給水装置作動状況	————	
				呼水槽からの水の補給状況	————	
		制御装置試験		起動・停止操作時の状況等	————	
				電源切替時の運転状況	————	
				ポンプの起動状況等	————	
		起動装置試験		起動表示の点灯状況		
				起動用水圧開閉装置の作動圧力	設定圧力 MPa 作動圧力 MPa	
				運 転 状 況	————	
		ポンプ試験	※締切り運転時の状況	締 切 揚 程	m	
				電 圧	V	
				電 流	A	
			※定格負荷運転時の状況	定 格 揚 程	m	
				電 圧	V	
	電 流			A		
		※ 水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験	逃し水量 L/min			
		※ ポンプ性能試験装置試験	表示値の差 L/min			
	試験	高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	————	
			静 水 圧 測 定	最下位 MPa 最上位 MPa		
		圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	————	
			静 水 圧 測 定	自動加圧装置作動状況	————	
			静 水 圧 測 定	最下位 MPa 最上位 MPa		
		配 管 耐 圧 試 験			試験圧力 MPa	
		* 制 御 弁 閉 止 表 示 機 能 試 験			————	
	* 流水検知装置又は圧力検知装置・表示・警報等			————		
相互作動試験	相互通話の状況		————			
	音声警報装置の鳴動状況		————			
総合試験	放水試験	* 起 動 性 能 等		————		
		* 放 水 圧 力 (MPa)		————		
		* 放 水 量 (L/min)		————		
	非常電源切替試験	自家発電設備		————		
		蓄 電 池 設 備		————		
		燃 料 電 池 設 備		————		
備考						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成 9 年消防庁告示第 8 号）に適合しているものとして、総務大臣又は消防庁長官が登録した登録認定機関の認定を受けた旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 *印のあるものは、⑤に住戸、共用室又は管理人室ごとの試験結果を記入すること。

6 非常電源（内蔵型以外のもの）及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

7 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

⑤

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 結果の欄には全て良の場合は○、一部でも否の場合は×を記入し、放水圧力及び放水量の欄には測定値を記入の上○×を記すこと。